

<p>浄土真宗 瑞林寺 坂井輪 墓苑だより</p>	<h1>无量寿</h1> <p>(親鸞聖人御真筆)</p>	<p>第45号 平成22年3月8日 発行人 〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目48 (相沢企業内) 坂井輪墓苑管理事務所 TEL 025-267-9402</p>
---------------------------------------	-------------------------------	--



**鳥**

親鳥は  
ヒナにエサを運ぶ  
ヒナ鳥は  
大きくなっても

親鳥には  
エサを運ばない  
ナルホド  
ナルホド

榎本栄一  
詩集「群生海」より

釈迦菩薩坐像  
2～3世紀 ガンダーラ、  
ペシャーワル博物館

### 春のお彼岸ご案内

三月二十日・二十一日(お中日) お花の用意をしております。  
ローソク・線香も常備しておりますのでお手軽でお参り下さい。

#### お花の予約は

二六七―九四〇二(前日迄)  
二六〇―五二四九(当日)

#### 墓前読経

二十一日(お中日) 午前八時半より  
午後五時半迄

#### 管理料口座振替(来年分から)

お済みでない方で、申込用紙なくされた方はお申し出ください。

#### お掃除会員継続募集中

お盆前にお墓のクリーニングを！  
お問合せは二六七―九四〇二

### 瑞林寺のたより

#### ☆三月の行事

●春彼岸の法要  
三月十八日 十時半～三時  
法要とお説教  
お昼はお斎あります

#### ☆毎月の法話会

●正信偈に聞く  
二十八日 午後一時半～  
歎異抄に聞く  
十六日(毎月第三火曜日)  
午後二時より

#### ☆こどもたちの会

●寺子屋 習字教室  
金曜日午後三時より(月三回)

#### ◆人形劇と日曜学校

三月十四日午後二時より  
新潟大学の学生さんの演劇

#### ☆大人の会

●小針の歴史を語る会  
三月十日午前十時～  
(毎月一回その都度)  
●ゴスペルコーラス  
第二・第四水曜日(夜七時より)  
どなたも自由に参加ください  
問い合わせ瑞林寺へ  
(二六六―一八四六)

### あとがき

◇先日、ある弁護士事務所から問い合わせの電話があった。相続人の責務を受けているがお骨だけが二年間も放りばなし。瑞林寺の無量寿廟に納めていただけるかと。  
◇主人を亡くし奥さんは入院の身、子供さんはないとのこと。困りはてての相談。手続きに明日来山したいと。  
◇また病院のケースワーカーからは、身寄りがないのでお納めいただけぬかと、市の火葬許可書には親族の承認の欄がある。どなたと尋ねると病院長とのこと。納骨の持参者に、あなたはと聞くとアパートの隣人と答えてそそくさと帰っていった。  
◇弁護士も病院も市役所も、息を引き取るまでのお世話はできても、そのあとは手も足もでない。無縁仏の続出の時代がすでに足元にひたひたと押し寄せている。  
◇生老病死の四苦は、私の身体と一体です。現代の問題は老と病が中心で「生と死」が忘れられている。  
◇生のみが我にあらず、死もまた我らなり。われらは生死を並有するものなり。(清沢満之)

# 無縁仏・無縁社会の到来

瑞林寺前住職 廣澤憲隆

## おひとりさまの「臨終」

三十年後には女は三人に一人、男は四人に一人が見取ってくれる家族もなく息を引き取る独居死を迎えるという。「おひとりさま」の臨終の到来です。

この数年、自殺者がずっと三万人を超えるが、だれにも知られることもなく、ひとり淋しく独居者で亡くなる方もすでに自殺者の数を上回るといわれます。

家族から家庭へ、農村社会から都市生活への産業社会の急激な変化と、自立・自由・個性への人間の尊厳と人権意識の高揚は大いに人間の解放と幸福をもたらした反面、「負の荷物」を同時に背負わねばならない運定と責務が生じました。

輝く陽の当たる表面は裏には必ず暗い影を宿します。そのうえ時の流れは絶対の後戻りをゆるしません。

少子高齢化や人口の減少は、都市生活者から過疎化地帯にまでおよび、人と人との間のつなぐ「きずな」は薄れて孤独死、独居死を招く、いわゆる無数の無縁仏の誕生です。

おひとりさまの行き着く先とは無縁仏に成ることを覚悟すること。これが近代の人間が追い求めた結末とはなんと皮肉なことでしょう。

だれにも世話にならずに生きる、生き方を選んだ近代の人間像、自立の人間の避けて通れぬ負の遺産です。

## 縁なき衆生と無縁の大悲

世の中の近代化とは、人間がバラバラになって孤立化するということです。

戦前には家族や親族を中心とした血縁共同体があり、地域には互いに助け合って生きる地域共同体がありました。

戦後の都市化の現象は、職場や企業がこれまでの血縁社会や地域社会にかわって職縁社会をつくり、一度就職すれば一生安泰であるという安堵感をあたえ組合運動もそれを助け、また国も社会保障の充実をスローガンに歩んできたのが二十世紀でした。

倒産する大企業の社長が「会社は永遠なり」と叫ぶ悲壮な姿がテレビの画面に映ったのもまだ記憶に新しいことです。

それが二〇〇〇年を前後に一挙に崩れ、現代は血縁も地縁も職縁もうすれ「共に依るべき世界」が消え失せ「無縁社会」ともいわれる状況が深まる今日です。

無縁社会に生きる現代人を結びつける唯一の道は、個人の「好きな」趣味や興味の関心を「縁」として集まる「好縁社会」だともいわれます。

入退会も自由で組織に縛られず、群れて集まる文化活動・健康教室・奉仕活動などの同好会の社会です。

しかし、現に到来している無縁社会とは、忍び寄る暗黒の闇と虚無の足音とともに、人間の苦しみを倍増する重圧となって人間に襲いかかる地獄の黙示です。

無縁の大悲が阿弥陀仏の本願です。急げ急げ、後生の一大事。

# 聖典を読む

親鸞聖人の

## 正信偈の二二ころ (7)

如来所以興出世

唯説弥陀本願海

五濁惡時群生海

応信如来如実言

（よみかた）

如来世に興出したもう所以は  
唯だ弥陀の本願海を説かんが  
ためなり。

五濁惡時の群生海  
まさに如来如実の言を信すべし。

（意味）

釈迦如来さまがインドの国に  
生まれたその意義は、ただひと  
えに、苦惱の人生にあってどの  
ような生きざまをさらす人であ  
ろうとも、等しく救いとげずに  
はおかない阿弥陀如来の大悲の願  
いを世に知らしめるためであり

ました。

この濁り矛盾に満ちた世に生  
きるすべての人々よ、どうかこ  
の如来の真実の願いを正しく受  
けとめてください。

## 釈迦誕生の意義

お釈迦さまは「私は新しく仏教  
を作ったのではない、古道を発見  
したのだ。その古道はすでに歩ん  
だ先人があったのだ」と説かれま  
した。この古道とは永遠に変わら  
ない不変の真理、かぎらない光明と  
慈悲のかたまり阿弥陀さまです。

その道は、すでに遠く昔より存  
在して人々を真理に導びいた道で  
したが、今は茂みにおおわれ藪に  
隠れて、忘れ去られていた。この  
道を新たに見いだした方がお釈迦  
さまです。

釈迦は、その道をまたすべて世  
の人々から渡って欲しいと願われ  
て、教え説かれたのが仏の教え、  
すなわち仏教です。

この道、すなわち真理の法、阿  
弥陀如来様の心にふれば、どん  
な人でも善人悪人を問わず愛に満  
ちあふれる万人平等の仏の世界！

## 差別の世と平等の浄土

お釈迦さまがインドに生まれ、仏  
道をお説き下さらなければ、私のこ  
の世に生まれた意味もわからず、  
苦勞して生きた一生も空しさだけに  
終わり、深い闇の世界に身を沈め  
るだけに終ります。

人間の自由な意思による生活の  
選択はごく限られたものです。こ  
の世に生まれたこと、親も兄弟も  
私の身体も、また時代も環境もみ  
な私の選びではありません。

一人ひとりの与えられた条件  
はみな異なり、違いの差は歴然  
です。人生の川の流れは清流とは  
かぎりません、濁流もあれば汚染  
された川もある。しかし、どんな  
川もひとたび大海にそそげば一味  
平等の海の味に転じます。

どんな違った人生も一味となる  
平等の世界、阿弥陀さまの浄土の  
海に目覚めることがすすめられる  
のです。